

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2002-209201(P2002-209201A)
 【公開日】平成14年7月26日 (2002.7.26)
 【出願番号】特願2001-2410(P2001-2410)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月10日 (2008.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介して映像コンテンツを受信するとともに、受信を行いながら映像コンテンツを復号して再生を行う映像受信端末において、

前記受信した映像コンテンツを蓄積するバッファと、

このバッファに蓄積された映像コンテンツを復号する復号手段と、

前記映像コンテンツの再生タイミングを示す信号を出力するタイマと、

このバッファに蓄積された映像コンテンツのデータ量と所定のしきい値とを比較する比較手段と、

この比較手段による比較結果に基づいて、前記復号手段とタイマ手段を制御する制御手段とを備え、

この制御手段は、

前記比較手段によって映像コンテンツのデータ量が所定のしきい値以下となったことが検出されると、前記復号手段とタイマに対して動作停止信号を出力し、この動作停止信号の出力に応じて前記復号手段とタイマが停止しているときに前記比較手段によって映像コンテンツのデータ量が所定のしきい値を越えたことが検出されると、前記復号手段とタイマに対して動作開始信号を出力すること

を特徴とする映像受信端末。

【請求項 2】

前記タイマは、前記制御手段から動作停止信号を受信すると、動作を停止するとともにこのときのカウンタ値を保持することを特徴とする請求項 1 に記載の映像受信端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

本発明の映像受信端末は、ネットワークを介して映像コンテンツを受信するとともに、受信を行いながら映像コンテンツを復号して再生を行う映像受信端末において、前記受信

した映像コンテンツを蓄積するバッファと、このバッファに蓄積された映像コンテンツを復号する復号手段と、前記映像コンテンツの再生タイミングを示す信号を出力するタイマと、このバッファに蓄積された映像コンテンツのデータ量と所定のしきい値とを比較する比較手段と、この比較手段による比較結果に基づいて、前記復号手段とタイマ手段を制御する制御手段とを備え、この制御手段は、前記比較手段によって映像コンテンツのデータ量が所定のしきい値以下となったことが検出されると、前記復号手段とタイマに対して動作停止信号を出力し、この動作停止信号の出力に応じて前記復号手段とタイマが停止しているときに前記比較手段によって映像コンテンツのデータ量が所定のしきい値を越えたことが検出されると、前記復号手段とタイマに対して動作開始信号を出力することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】